

作者プロフィール

柚木 文夫氏 千葉県隊友会会員 習志野支部長 桧町陸幕 平成2年退官 1958年防衛大学卒  
元防大山岳部監督 現自衛隊山岳連盟会長

## 越後 八海山ー岩峰また岩峰ー



八海山の威容

10月上旬、越後・八海山（1778m）に登った。越後三山の一つ、八海山は八つの険峻な岩峰を連ね、古くからの山岳信仰の山として知られている。私の好きな酒の銘柄でもある（関係ないか）。

JR六日町駅からのバスで八海山スキー場に着き、そこから一気に八海山四合目までロープウエーで上がった。ロープウエー山頂駅12時半出発で山頂に向かう。雑木林の中の急な登りを30分程で四合目半分岐。ここから池塘の点在する緩い登り。ウラト池、ヒョウタン池、最後に天然記念物のモリアオガエルが生息するというコギ池を過ぎると傾斜が急になり、一登りして14時、女人堂の広場に到着した。正面に薬師岳が大きく迫る。女人禁制の時代には、女性はここまで登って八海山を礼拝したという。今は立派な避難小屋がある。

女人堂からは灌木帯の急登。クサリ場を登り切った所が薬師岳。霊神塔や不動尊の銅像が立ち並ぶ。今夜の宿、千本檜小屋（九合目にあたる）がすぐ目の前に見えた。



千本檜小屋(後方は薬師岳)

千本檜小屋到着が15時。二階にそれぞれの寝床を確保した後、一階の不動尊の祭壇の前に誰とはなしに人が集まり出し、酒盛りが

始まった。酒は勿論八海山である。翌朝6時半出発で、八海山の本命、八ツ峰の岩稜縦走に向かう。鋸の歯のような各岩峰にはそれぞれ名前が付いている。手前から、地藏岳、不動岳、七曜岳、白河岳、釈迦岳、摩利支天岳、剣ヶ峰、大日岳。岩稜の左右は正に千尋の断崖。高所恐怖症の人にはとてもお勧め出来るコースではないが、要所要所にはガッチリとクサリがつけら

地藏岳



大日岳



れており、岩もしっかりしていて、それほど難しくはない。爽快な岩峰登

り、岩もしっかりしていて、それほど難しくはない。爽快な岩峰登

下降の連続を存分に堪能して、7時半、8個目の大日岳山頂に

到着した。時間も早いので、ここから更に欲張って、八海山の主峰・入道岳を往復することにした。クサリにすぎたの往復1時間半。

下山は新開道コースを取った。急傾斜のあちこちをクサリとハシゴにすぎた下りる。緊張の連続の所為かくたびれ果てて、麓の山



帰路に振り返った八ツ峰

